

# こくたか 連携だより

2019年発行  
第151号  
**8**月号

市民健康医学講座  
間違いだらけの補聴器(ホチョーキ)選び … 2  
耳鼻咽喉科部長 高橋 克昌

医療安全研修会  
医療現場のコンフリクトマネジメント  
～真摯に毅然と対応するために～ …… 3  
医療安全管理係長 深代 美由紀

地域連携症例検討会 …… 4  
消化器内科部長 長沼 篤

高崎総合医療センター 診療科紹介 …… 5

緩和ケアニュース …… 6  
ほっとさろん・たかさき …… 7  
臨床検査科だより …… 8  
栄養だより …… 9  
医師紹介コーナー …… 10  
地域医療連携登録医のご紹介 …… 11  
セカンドオピニオンのご案内 …… 12～13  
外来診療担当表 …… 14～15  
院長室だより/行事などのお知らせ …… 16



レンゲショウマ  
(7月～9月)

… 花言葉 …  
「伝統美」



●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構  
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36  
代表 (TEL) 027-322-5901  
URL <http://www.tnho.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)  
(TEL) 027-322-5835  
(FAX) 027-322-5925

## 【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

## 【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

## 【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

## 【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

# 間違いだらけの 補聴器（ホチョーキ）選び

市民  
健康医学  
講座

耳鼻咽喉科部長 高橋 克昌



「耳の穴に入る小さい補聴器は隠れるからいい」  
「お店では高いからネット通販で買ったら安かった」

残念ながら、これはすべて間違いです。歳をとるとなぜ耳が遠くなるのか、補聴器の仕組みも一緒に考えてみましょう。

補聴器は、音を拾うマイク、増幅コンピューター、音を出すスピーカーの3つの部分からできています。カラオケ店で、マイクをスピーカーに近づけると「キーン」と嫌な音がします。この現象がハウリングで、補聴器では「ガーガーピーピー」する雑音になります。マイクとスピーカーが近いと鳴るので、この二つは離すと良いです。小さい補聴器は、マイクとスピーカーの位置が近すぎてハウリングしやすく、優秀なコンピューターが何とか雑音を防いでいます。このコンピューターの分、高額になります。さらに音漏れしないよう、耳の穴で型取りした耳栓も必要です。オーダーメイドになるので金額が上がります。

補聴器をつけたら、どんどん話さなくてはなりません。一人暮らしで話し相手がない方は、補聴器をつけても聞こえるようになりません。良く聞いて良く話すリハビリが必要です。老人難聴は、耳が悪いのではなく、実は頭（脳）が悪いからです。老人難聴では、日本語の聞き取り能力（明瞭度）が悪くなり、「あいうえお」の音が、「あああああ」に聞こえます。これは脳の老化が原因で、音が入っていない状態に慣れた脳を活性化して、「音を聞く脳」に作り替えなければ

なりません。具体的には、小さい音から慣らしながら、大きな音も聞こえるような調整が、3ヶ月は必要です。

この調整をしてくれるのが補聴器専門店の認定補聴器技能者です。4年間の講習期間と試験に受かった人が技能者で、眼鏡屋さん量販店にはいません。高崎に数店舗しかない補聴器専門店を勧めます。ネット通販では、補聴器と偽って集音器を売っています。補聴器は医療機器なので、購入時に消費税がかかりません。病院で薬をもらうのと同じです。領収書に税込金額が書いてあったら集音器です。集音器は補聴器と違ってコンピューターが入っていませんので、その人その人に合わせた調整ができません。

高い補聴器、何とか安く買いたいです。方法は2つあります。耳元の大声も聞き取れない高度難聴の方は、身体障害者に認定されるかもしれません。書類を高崎市役所に提出して県の審査が通れば、赤い身体障害者手帳が届いて、安く補聴器が買えます。また2018年から、確定申告の医療費控除として補聴器も申請できるようになりました。高額な補聴器は節税効果が高いですが、注意点もあります。購入前に耳鼻咽喉科の専門医が診断書を書いて、それを持って認定補聴器技能者のお店で注文し、領収書を税務署に提出しなくてはなりません。耳鼻科医に見てもらわずに補聴器を作ってしまったら、もう手遅れです。まずは耳鼻科を受診して、自分が該当するか検査してください。

## 医療安全研修会

# 医療現場の コンフリクトマネジメント

～真摯に毅然と対応するために～

医療安全管理係長 深代 美由紀

6月28日に全職員対象の医療安全研修として、「オフィス風の道」代表の永井弥生先生をお招きして、『医療現場のコンフリクト・マネジメント～真摯に毅然と対応するために～』の講演会を開催しました。先生にはコンフリクトマネジメントの基本的知識と群馬大学附属病院の医療安全管理部において多数の患者家族と対応された経験などについて講義して頂きました。コンフリクトとは「論争、衝突、葛藤、対立、矛盾」といった概念を意味する言葉であり、それらをマネジメントすることがコンフリクトマネジメントです。患者・家族は治療の過程で潜在的に不安・不満・葛藤を抱えています。しかし、その不安・不満・葛藤などに対して医療者と認知のずれがあった場合、苦情・クレーム・紛争として表面化します。先生は苦情・クレーム・紛争対応で重要なことは「相手の関心」に関心を持つことだと話されました。怒りは二次的な感情であり、口にしていることと本当の思いは違うことがあるからです。ひとたび苦情や紛争が発生した場合、医療者側は一生懸命、医療の正当性や病院として改善策に取り組む姿勢をアピールします。しかし、患者側が聞きたいことは医療者側が説明する内容と一致しているとは限りません。講

義の中で患者側と医療者との対話に、中立的な立場で両者の話を聞く医療メディエーターという第3者が存在する動画を見せてもらいました。両者だけでは平行線になってしまう対話も、中立的に両者の思いを傾聴することで、怒り以外の感情が表出され見えていない事実が引き出されるといった効果を発揮していました。研修後のアンケートで「相手の思いを理解することの大切さを改めて感じた」「医療者にとって正しいと判断する理論的な対応が時にベストではないことが理解できた」などの反応があり、患者側の本当の想いに寄り添うことのむずかしさを実感しました。当院には医療メディエーターという専門の職種は存在しませんが、医療者がメディエーターの役割を意識することで対話が効果的に推進すると考えます。その他には、近年マスクミ等でも取り上げられる過剰な要求を繰り返す悪質クレイマーに対しては病院として毅然と対応するシステムづくりが重要であると教えて頂きました。今回の研修を参考に、傾聴・共感などの基本的なコミュニケーションにより日頃から信頼関係を築き、患者・家族のコンフリクトが最小限でとどめられる医療を提供したいと考えます。

第16回

# 地域連携 症例検討会

## 肝・胆・膵疾患の診断と治療の連携

消化器内科部長 長沼 篤



去る7月10日水曜日（19:00-20:30）に、第16回地域連携症例検討会「肝・胆・膵疾患の診断と治療の連携」を当院2階大会議室にて開催させていただきました。平日でお忙しい中にも関わらず、多数の開業医の先生方およびメディカルスタッフの方々にご参集いただきまして誠に有難うございました。

総合司会は地域医療支援・連携センター長である、総合診療科の佐藤正通部長に務めていただきました。会の冒頭では当院石原弘院長に挨拶していただき、地域連携症例検討会の意義についてお話いただきました。進行は私と消化器外科の坂元一郎部長で担当させていただきました。まず始めに消化器内科・肝胆膵チームを代表して、私の方から当院における肝胆膵内科の治療成績（ラジオ波、カテーテル治療、胆膵治療内視鏡、がん薬物療法など）について悪性疾患を中心に報告させていただきました。消化器外科・肝胆膵チームの紹介については、平井圭太郎医長が外科を代表してお話いただき、実際に当院で行われている肝胆膵外科手術について解説していただきました。肝切除例の場合、術前に肝臓の体積をコンピュータソフトで測定し、3Dシミュレーションで残肝体積を計算する様子などを、綺麗な立体図で分かりやすくお話してくれました。

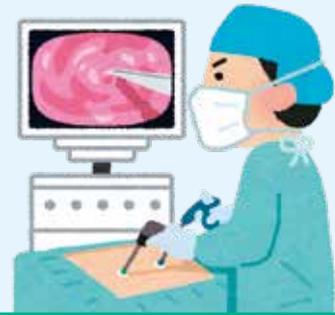
続いて症例検討は、3例行いました。症例1は消化器内科星野崇医長、消化器外科田中寛医師、病理診断科宮永朋実医師が担当しました。この患者さんは当初膵癌を疑われていたものの、手術標本

の検討で最終的には非露出型の乳頭部癌と診断された方で、示唆に富む教訓的なケースでした。症例2は消化器外科田中寛医師、病理診断科宮永朋実医師が担当し、稀な肝腫瘍の症例について解説していただきました。症例3は消化器内科の安岡秀敏医長が担当しました。感染を合併した仮性膵嚢胞に対して超音波内視鏡を用いたドレナージを行い、低侵襲で効果的に治療することができたケースについて紹介していただきました。いずれの症例検討においても活発な質問やコメントをいただき、大変有意義な検討会となりました。最後に栗原秀行副院長から、閉会の挨拶をいただき、盛況なうちに検討会は終了となりました。

今回の症例検討会が、ご参加いただきました皆様の明日からの日常診療を行う上で、少しでもお役に立つようであれば幸いです。ご協力いただきました全てのスタッフの方々に感謝を申し上げて、本後記を締めたいと思います。有難うございました。



# 高崎総合医療センター 診療科紹介



## 外科

### ■ 診療方針

癌診療拠点病院として、悪性腫瘍に対する手術を中心とした先進的治療を行うとともに、救命救急医療機関として、腹部救急疾患や外傷に対し迅速に診療を行います。

外科医と消化器内科医の消化器病センター間の連携のほか、放射線科医や多職種を交えた症例検討会を行い、各種診療ガイドラインに則して高度な専門性と安全性の両立した医療を提供しています。侵襲の軽減を図り、腹腔鏡下手術の適応を積極的に検討しています。多くの並存疾患を抱えた症例も多く、専門診療科や多職種と協力し、治療前から治療後まで患者にあわせた適切な支援を行います。患者や家族に対し、十分な情報提供ときめ細やかな診療を心がけています。がん診療連携パスを積極的に活用し、病診連携を推進します。

緩和医療を病気の早期より積極的に介入し、患者の不安や苦痛の軽減に努めます。

### ■ 診療実績手術数（平成30年度）

術名	手術数（うち腹腔鏡手術）
食道全摘術	4（0）
胃全摘術・胃切郭清術	83（38）
結腸切除術	126（80）
直腸切除術・切断術	73（49）
膵頭十二指腸切除術	9（0）
肝切除術	28（0）
胆嚢摘出術	129（107）
虫垂切除術	67（64）
ヘルニア根治術	127（36）
腹膜炎手術	25（4）
その他	27（0）

### ■ 医療設備

- 平成27年8月 3Dカメラ対応腹腔鏡手術システム
- 平成28年2月 プロフォーカスウルトラビュー800



# 緩和ケアニュース

高崎市で医療用ウィッグ等購入費補助事業が始まりました!

高崎市では、がん治療等に伴う経済的負担の軽減と、療養生活の質の向上や就労などの社会生活を支援するため、医療用ウィッグや胸部補整下着等の購入費用の一部を補助する事業が始まりました。

詳細は以下のようになります(申請書類より引用)。

## 対象者

申請時点で高崎市に住民登録している方で、がん治療等に伴う脱毛や手術などにより、外見の変化に対する補整具が必要な方

## 補助の対象

2019年4月1日以降に購入した補整具

- ・ウィッグ(かつら)
- ・胸部補整具(ノンワイヤソフトブラ、パットなど)
- ・エピテーゼ(人工乳房、顔面の補綴など) 等

## 補助金額と内容

- ・30,000円(購入費用額が30,000円未満の場合は、実際に購入した金額を補助)
- ・対象者1人につき1回のみ申請可
- ・複数購入した場合は、1回にまとめて申請
- ・申請期限は、補助の対象品を購入後、領収書発行日の翌日から起算し1年以内

申請窓口は **高崎市 保健所 健康課 健康づくり担当** となります。(高崎市総合保健センター4階:027-381-6113)

申請書は院内の相談窓口でも準備しております。



## がん相談支援センター

(地域医療支援・連携センター内)

お電話 **027-322-5901**(代)  
もしくは院内相談窓口にお問い合わせください。



# がん相談支援センター

病気や療養、生活に対する不安など お気軽にご相談ください。

- 今後の検査や治療のことが不安
  - 治療の副作用が心配
  - 療養生活に関する情報がほしい
  - セカンドオピニオンについて相談したい
  - 緩和ケアに関する情報を知りたい
  - 仕事はどうしたら良いか？
  - 在宅医療や介護保険など住宅ケアに関することを相談したい
  - 禁煙に関すること
- などなど

**相談窓口** 1階 6番入退院センター隣

**電話相談** 027-322-5901 (代) + 「がん相談希望」とお伝え下さい。

**相談受付時間** 平日 8時30分～17時15分

がん患者さんやそのご家族の集いです

## ほっとさろん・たがさき

病気のことや日々の生活のことなどお茶を飲みながらお話しませんか？

当センターでは、がんさを月1回開催しております。  
がん患者さんやそのご家族に、ご自由に参加して頂いております。  
事前の申し込みは必要ありません。



2階ほっとさろん案内図

と き：毎月 第四金曜日  
13時30分～15時30分

ところ：高崎総合医療センター2階 市役所側  
売店右奥 検査科横

当日は、高崎総合医療センター相談支援センターの  
看護師やソーシャルワーカーも参加いたします。

- 当院へ駐車の場合、駐車料金がかかりますのでご了承ください。  
(2時間まで無料 以降1時間100円)
- さろんについてのお問い合わせは、高崎総合医療センター**相談窓口**  
までお願い致します。  
電話：027-322-5901 (病院代表)



### ◆血小板の測定

検体は血算用としてEDTAといった抗凝固剤を添加してある採血管（紫キャップ）で採血します。採血時には採血管をゆっくり振り、抗凝固剤と血液を混ぜて固まらないようにします。検査は全血（液体成分と有形成分の両方）を使用し、検体を混和し血液の塊が無いか確認してから自動血液分析装置で測定します。血小板以外に赤血球・白血球も同時に測定することになりますが、測定原理として用いている電気抵抗法で血球の大きさで抵抗値が異なることから、血球の種類が分けられ血小板の計測が可能となります。

### ◆EDTA 依存偽性血小板減少症

通常血小板測定に用いる抗凝固剤は前述したようにEDTA添加の採血管を使用します。この採血管で採血することによって、赤血球をはじめ血小板も採血管の中で凝集せずに固まらない状態になっています。しかし、稀にEDTAにより血小板が活性化して血小板凝集を起こしてしまうことがあります。このような血小板凝集を起こした検体を測定すると、凝集した血小板は、血小板と認識されないため見かけ上は血小板が少なく報告されてしまいます。この現象は、抗凝固剤にEDTAを用いた試験管内だけであり生体内では凝集しません。EDTA依存偽性血小板減少が起こった場合は、抗凝固剤をEDTAではなくヘパリンやクエン酸ナトリウムといった別の抗凝固剤を使用した採血管に変更して採血をします。また、血管が細い患者さんを採血しているとき、血液採取に時間がかかってしまうと、赤血球は凝集していないが血小板が凝集していることが稀にあります。この場合、外見からでは血小板凝集の有無が判断できないので検査をしてから血小板凝集に気付くことになります。このような場合は、あらためて採血をさせていただくことになります。

### ◆臨床的意義

血小板の異常は数の異常と機能の異常に分けられます。

血小板の異常	疾患名
減少する疾患	再生不良性貧血、がんなどの骨髄浸潤、突発性血小板減少紫斑病、播種性血管内凝固症候群、慢性肝炎・肝硬変、脾機能亢進、EDTA依存偽性血小板減少症
増加する疾患	本態性血小板血症、真性多血症、摘脾後
機能異常の疾患	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 血小板受容体異常（GP I b/IX/V複合体異常症、Bernard-Soulier症候群、GP II b/III a異常症、von Willebrand病、血小板無力症）</li> <li>② 放出異常症</li> <li>③ プロコアグラント活性異常</li> </ol>



「何を」「どれだけ」食べるかという従来の栄養学に、体内時計の働きに基づいて「いつ」「どのように」食べるかの視点を加えた考え方を時間栄養学といいます。私たちの体の中で行われている消化、吸収、代謝の働きは、体内時計によって大きく左右されています。体内時計が狂うと、睡眠障害、うつ病、肥満のみならず、免疫・アレルギー疾患にもつながる事が分かってきました。

## 朝食を食べて、 体内時計を整える



私たちの体内時計は25時間周期で働いています。これを1日24時間の周期に合わせるために、光と食事の刺激で体内時計を調整しています。朝食を摂らない場合、体内時計にずれが生じます。朝食は遅くても、起床2時間以内に食べて、体内時計を整えましょう。

朝食にご飯やパンなどの糖質を摂ることで、体内時計がリセットされ、脳の栄養となり、代謝を高めるよう作用します。また、たんぱく質も体内時計を調整し、活動するために必要な筋肉を増やすよう働きます。おにぎりだけの朝食を摂っている方は、卵やチーズ、豆腐等の手軽なタンパク質を一品追加してみましょう。



## 朝食の 内容も重要!

## 遅い夕食は 太るもと!



夜遅い食事はエネルギーとして使用されず、脂肪として蓄積され肥満につながります。時計遺伝子を構成する因子のひとつBMAL1(ビーマルワン)というタンパク質は、脂肪の合成を促進する働きがあり、22時～午前2時に増える傾向があることがわかっています。夕食が21時以降になってしまう場合は、17～18時頃におにぎりなどの主食を食べて、昼からの長い血糖低下を防ぎましょう。その後、遅い時間の夕食は、おかずを中心に軽く済ませる事で、肥満も予防できます。

時間栄養学の基本は、体内時計を意識した生活リズムを実現することです。規則正しい生活習慣を身に付け、肥満や生活習慣病を予防し、健康に過ごしましょう。

# 医師紹介 コーナー

当センターの  
医師を  
紹介します!



2019年4月に北海道の函館から高崎総合医療センター総合診療科に転勤してきました。北海道生まれ北海道育ちのため、寒さには強いですが夏を乗り切れるか心配しています。これまでのところは都会過ぎず田舎過ぎない高崎で非常に充実した毎日を送れています。

私の医療者として目指しているものは「患者さんの半歩後ろを歩く医療者」です。

一歩前に行くのでは患者さんが立ち止まった時に距離が離れてしまいます。一歩後ろでは患者さんが不安な中、自分自身の力で道を切り開いていく必要が出てしまいます。半歩後ろを歩くことが出来れば、患者さんが立ち止まった時には自然と患者さんに寄り添えると考えています。また、こちらが一歩踏み出すだけで患者さんより半歩前に出て選択肢を提示することもできます。そういった意味で「半歩後ろ」から患者さんに関わって良い影響を与えられるような医療者を目指して頑張っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



● 総合診療科

いづか ゆたか  
飯塚 堯

2019年4月より高崎総合医療センター整形外科に赴任いたしました齋藤健一と申します。平成16年に富山医科薬科大学を卒業し、故郷である群馬に帰り、群馬大学整形外科に入局しました。入局後は、3年間群馬県内の関連病院で研修し、その後は群馬大学で膝関節外科（主に人工関節）、骨軟部腫瘍外科を専門に臨床、研究を行ってまいりました。

長寿の時代となり、健康寿命の延伸は我々整形外科にとって大きな課題の一つです。特に高齢者の膝関節痛（変形性膝関節症）は移動能の低下から要介護となる主な原因の一つであり、その治療は非常に重要と考えます。保存治療（内服、ヒアルロン酸注射、装具など）で疼痛の改善が得られない患者さんの中には人工膝関節置換術を受ける方もいますが、今年からは当院でこの手術を受けることが可能となりました。保存療法で膝の痛みが改善せず手術についての相談をご希望される患者さんがいらっしゃいましたらいつでもご紹介ください。

今後は当院での診療を通して、地域の患者さんの健康に貢献できるようがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



● 整形外科

さいとう けんいち  
齋藤 健一

# 地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと  
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

## 月岡内科医院

### 院長あいさつ

戦後まもなく設立し、地域の皆様に支えられながら親子三代にわたり、群馬県高崎市で地域医療を行ってまいりました。内科・消化器科を中心に医療を行っております。

健康は何ものにもかえがたく維持するのは容易ではございませんが、疾患は早期発見・早期治療が何よりも大切です。当院では、こどもから大人まで、一生の健康を考えるアドバイザーとして皆様のお役に立てればと思っております。お気軽にご来院ください。



院長  
月岡 玄吾

副院長  
月岡 関夫

### 診療科・病院案内

#### 内科・消化器科・胃腸科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(4:00~6:00)	●	●	●	●	●	△	△

群馬県高崎市岩鼻町258-1 TEL:027-346-1226

昭和26年開業以来、三代60年以上地域医療に専念しています。内科一般診療を行っておりますが、特に苦痛の少ない経鼻内視鏡、大腸内視鏡、腹部エコー、血圧脈波検査、物忘れ検診など日々努力しております。

## 医療法人社 近藤医院

### 院長あいさつ

病気や治療について、できるだけわかりやすくお話しするよう心がけています。わからないことがありましたら、ご遠慮なくお尋ねください。



近藤医院  
院長  
近藤 清廉

### 診療科・病院案内

#### 内科・循環器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~12:30)	●	●	△	●	●	●	△
午後(3:00~6:30)	●	●	△	●	●	2:00~5:00	△

群馬県高崎市岩鼻町324-3 TEL:027-346-2208

高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病、不整脈・心不全などの心臓病の診察に力を入れています。

# セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を  
実施しております。  
概要につきましては以下のとおりです。



## 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

## 実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科  
乳腺、内分泌外科・脳神経外科・呼吸器外科・産婦人科・泌尿器科・眼科  
放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科



## 予約方法

**完全予約制 代表電話：027-322-5901**

※代表にお電話を頂き、「セカンドオピニオン係」とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

## 外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

## 費用

30分以内 5,400円(消費税込み)

30分以上 10,800円(消費税込み)

## セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

## セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	茂木 充	呼吸器全般	金
消 化 器 内 科	工藤 智洋	食道、胃、大腸	木
	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	木
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	小川 哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	塚越 浩志	大腸	水
乳 腺・内 分 泌 外 科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
脳 神 経 外 科	栗原 秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火
	笹口 修男	脳血管障害	木
呼 吸 器 外 科	菅野 雅之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放 射 線 治 療 科	北本 佳住	悪性疾患の放射線治療	金
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

# 外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。  
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	合田 史 真下 大和	合田 史	佐藤 正通 合田 史 <small>午後：予約専門外来</small> 飯塚 堯	佐藤 正通 真下 大和
栄養外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	(小澤 厚志)	武藤 壮平 (道又 敏夫)	渋沢 信行 <small>午後</small>	武藤 壮平
神経内科	(池田 雅美)	古田 夏海	藤田 智	(山内 茉由莉)	古田 夏海
呼吸器内科	茂木 充 <small>午前</small> 佐藤 麻里	竹村 仁男 大島 一真 <small>午前</small>	大島 一真 増淵 裕朗 <small>午前</small>	茂木 充 竹村 仁男	佐藤 麻里 大貫 祐史 <small>午前</small>
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 <small>午後</small> 綿貫 雄太	工藤 智洋 星野 崇 鈴木 悠平 綿貫 雄太	安岡 秀敏 増田 智之 石原 弘 <small>午後</small> (蘇原 直人) <small>午前</small>	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 <small>午後</small> 柴崎 絵理奈	工藤 智洋 星野 崇 相原 幸祐 (岡野 祐大) <small>午後</small>
内視鏡検査	星野 / 増田	安岡 / 増田	工藤 / 綿貫	工藤 / 上原	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small> 村田 智行	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄) <small>再来</small>	広井 知歳 佐野 幸恵 太田 昌樹 <small>不整脈外来午後</small>	福田 延昭 (金澤 紀雄) <small>再来</small> 湯浅 直紀	小林 紘生 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small> 太田 昌樹 <small>ペースメーカー外来、第2・4週午後</small> 柴田 悟
新患外来(午前)	高橋 伸弥	福田 延昭	村田 智行	佐野 幸恵	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗	井田 逸朗 村山 侑里
小児科	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 徳永 真理 <small>午後</small> 内田 亨 八木 龍介 <small>午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 倉田 加奈子 <small>午前</small> 八木 龍介 (神尾 綾乃) <small>第2・4週午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 倉田 加奈子 <small>午後</small> 佐藤 幸一郎 <small>午後</small> <乳児健診> <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small> 徳永 真理 <small>午後</small> 小笠原 聡	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 徳永 真理 <small>午前</small> 佐藤 幸一郎 (西澤 拓哉) <small>第2・第4週午後</small>
小児外科		(西明・高澤 慎也) <small>第2・4週午後</small>			
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳	小川 哲史 <手術日>	榎田 泰明 田中 寛	小川 哲史 平井 圭太郎 小川 哲史 <small>小川祐介(栄養士)</small>	塚越 浩志 星野 万里江
栄養サポート外来					
ストーマ外来			第2・4週目午後：予約	第1・3・5週目午後：予約	
泌尿器科	井上 雅晴	栗原 聰太	(青木 雅典)	井上 雅晴	栗原 聰太

## 1 外来診療 受付時間

8:30～11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない場合、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

## 2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、  
地域医療支援・連携センターを通じた  
事前予約にご協力下さい。

( ) の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
緩和医療科	田中俊行	田中俊行	田中俊行		田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生	鯉淵幸生	鯉淵幸生	交代制／(中澤祐子) 午前、予約 午後、予約	鯉淵幸生 第2・4週目
	荻野美里	高他大輔	荻野美里 高他大輔 再診予約		高他大輔 荻野美里 第1・3・5週目
心臓血管外科	<手術日>		高橋 徹	小谷野 哲也	茂原 淳
呼吸器外科	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行 午後	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行	<手術日>
整形外科	新井 厚	大澤敏久	荒 毅	<手術日>	大澤敏久
	荒 毅	(柳澤信明) 午後	信太晃祐		齋藤健一
	信太晃祐	齋藤健一 一ノ瀬 剛	猪俣和弘		一ノ瀬 剛
形成外科	(古賀康史) 午後				(田村健・濱田泰志) 交代制 午後
脳神経外科	島内寛也	栗原秀行 午前	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴)			(須藤麻梨子)
産婦人科	伊藤郁朗	伊藤郁朗	田村美樹	満下淳地	伊藤郁朗 第2週は紹介・予約
	満下淳地	青木 宏	(西村俊夫) <産後検診>	(金井真理)	青木 宏
	永井あや	田村美樹		(森田晶人)	永井あや
眼科	土屋 明 紹介・予約	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌		<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
放射線治療科	北本佳住	北本佳住	大高 建	北本佳住	北本佳住
	大高 建	大高 建		大高 建	大高 建
歯科口腔外科	柴野正康	<手術日>	前山恵里	薬師寺 孝	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1・3・5週のみ	稲川元明	稲川元明	稲川元明	稲川元明
	木村将典	倉持真理子	木村将典	木村将典	倉持真理子
	倉持真理子	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2・4週のみ	倉持真理子		

(令和元年8月1日現在)

### 3 予約について

(医療機関からの  
紹介患者事前予約)

消化器内科、産婦人科、形成外科、眼形成眼窩外科、整形外科、神経内科、放射線治療科、歯科口腔外科、歯科(歯科麻酔)、呼吸器内科、耳鼻いんこう科は紹介事前予約制となります

- 分娩希望についてはこの限りではありません。
- 精神科も完全予約制となりますが、通常の予約方法と異なります。地域医療支援・連携センターにお尋ねください。

FAXの予約対応を平日は18:30まで行っています

- FAXは24時間受け付けています。

土曜日も予約受付を行っています(8:30-17:15)

### 4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター  
医療機関専用ダイヤル:027-322-5835 FAX:027-322-5925

## 院長室だより

vol.49

## 1945年8月6日

1945年8月6日は広島に原爆が投下された日です。8月9日は長崎です。原爆投下から約1ヶ月後に、日米合同委員会のメンバーが原爆の影響の医学調査をするために広島に入りました。

調査団の日本の医師の広島の第一印象は、「広島はこんなにも平らだったのか」ということでした。建っている家は一軒もなく、少しばかりのコンクリートの建物の一部が残っているだけで、高いものが何もなくなってしまい、本当に異常なほどに平たい土地になっていました。

都市の中に残っているものは道路と川だけで、それ以外は瓦礫だけです。生きて暮らしている人もいなかった。人間だけでなく、すべての生物がいなくなり、木々もそうで草すら生えていなかった。昆虫も、犬や猫もいませんでした。生きとし生けるものは何もなかったという状態でした。広島の異常さは、爆撃機の大編隊が日本に近づいて来るということではなく、たった一機の軍用機が飛んで来て、晴れた青空の下で日常生活が営まれていたその時に突然原爆が投下され、瞬時にして何万人もの人達が犠牲になり、一つの市が全く無くなってしまったということです。

もし日本軍隊が1941年に真珠湾を攻撃していなかったら、1945年に広島に原爆投下はなかったでしょう。

また、1945年7月26日のポツダム宣言をすぐに受け入れていたなら、広島・長崎の原爆投下はなく、ソヴィエトの介入もなかったはずで、この3つの出来事により、非常に多くの大切な生命が失われました。

1945年8月15日に日本が無条件降伏を受け入れて戦争が終わりました。しかし、日本は戦争は終わったが、「解放」（もちろん日本軍国政府からの）という言葉を使うか、「敗戦」という言葉を使うかで意味合いが違って来ます。しかし、日本の場合は「解放」とは言いません。しかし、「敗戦」とも「降伏」とも言わない。つまり、「終戦」という言葉を使います。典型的なEuphemism（はっきり言うとまずいことをうまく、きれいなように婉曲に言うこと）です。日本の先の15年戦争の反省、論戦をするためには、概念をはっきりさせなければなりません。

「敗戦」か「解放」か、これで初めて議論になります。

「終戦」だと議論にはならないんです。

過去から学ぶことは1つしかない。つまり、未来についてです。未来について学ぶには、価値観と、はっきりした概念（言葉）が必要です。

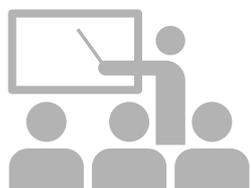


病院長 石原 弘

## INFORMATION

行事などのお知らせ

お気軽にご参加ください



●第221回 市民健康医学講座  
(心臓血管内科医師からのお話)

日時：2019年9月18日(水) 17時30分～

講師：心臓血管内科 高橋 伸弥

場所：当センター2階 大会議室

対象：一般の方 医療従事者

●地域連携症例検討会

『総合診療科・内分泌代謝内科の  
診断と治療の連携』

日時：2019年9月19日(木)

19時00分～20時30分

演者：総合診療科部長 佐藤 正通

内分泌代謝内科部長 渋沢 信行 ほか

場所：当センター2階 大会議室

対象：医師 医療従事者（申し込み必要）

※日本医師会生涯教育：1.5単位予定

●CPC（臨床病理示説会）

日時：2019年9月25日(水) 17時45分～

場所：当センター2階 大会議室

対象：医師

## 編集室より

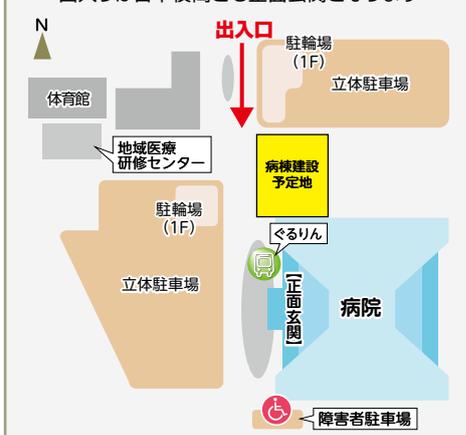
登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835

(医療機関専用ダイヤル)

## 高崎総合医療センター案内図

出入りは日中夜間とも正面玄関となります



独立行政法人・国立病院機構

高崎総合医療センター